

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。

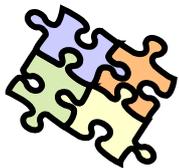
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2009年1月1日発行

あけましておめでとうございます。

あっというまに、2009年。今年は、より一層みなさんに「はもりあ四日市」の新鮮な情報を提供できるよう、たくさん情報発信していきたいと思えます。ぜひ「はもりあ」で検索してください。

現在、さんかくカレッジ 2008 男性向け料理教室「はじめての台所」好評開催中です。この料理教室で今年度のカレッジは終わりです。続いて、3月8日に講演を、そして今月24日と3月7日の夜間映画会を開催します。いずれも無料ですので、みなさん、ぜひ来てください！



3月8日(日)に、ワーク・ライフ・バランスの講演会を実施します！！

【ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)とは?】

「ワーク・ライフ・バランス」というと、女性が出産後も働き続けられるよう妊娠や出産、育児のための制度の充実を取り上げられることが多いのですが、実はそれだけではありません。男性、女性を問わず、労働者全体が、現在の仕事優先の働き方から、生活を大事にした働き方への変化が求められています。

【長時間労働者 仕事ができる人】

日本は、諸外国と比較すると、長時間労働を強いられている労働者が多いです。1日の大半が仕事という感じで、仕事以外の家族や友人と過ごす時間や、趣味や地域活動に費やす時間がとれない状況になります。長時間働くと、諸外国の何倍もの仕事量をしたことになるのでしょうか？ 実はそうでもないのです。1時間あたりの労働生産性を諸外国と比較すると、日本は大変低いのです。つまり、業務効率が悪いということ。

【働き方を見直そう!】

内閣府では、2008年を「仕事と生活の調和元年」と位置づけています。ワーク・ライフ・バランスの実現には、長時間労働を見直し、個人のライフスタイル・ライフサイクルに合わせた働き方の選択ができるようにすることが必要です。まだまだ長時間労働をしなくてはならない状況下に置かれている方々がたくさんいますが、今後は、いかに労働生産性をあげるか、いかに時間管理を行うかが大切になってきます。1日10時間労働や「この仕事は夜やろう!」など、最初から残業を前提とした働き方をするのではなく、定時まであとどれだけという、タイムリミットを持った働き方をしてはどうでしょうか？

【ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて】

性別や年齢に関係なく、誰もが少しずつ仕事に対する意識を変えていかなければなりません。

はもりあ四日市では、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、現在の働き方について、また、メリハリをつけた働き方について考える機会を持ちたいと思い、パク・ジョアン・スックチャさんの講演会を企画しました。

パクさんは、日本初のワーク・ライフ・コンサルタントであり、現在、多くの企業に対し、ワーキングスタイルの改革を提唱されている方です。今、働いている人、経営者の人、これから働こうと思う人、そして今働いている人がいる家族の人みんなに聴いていただきたい講演会です。ぜひ、みなさん、お越しください。



ワーク・ライフ・バランス ~潤いのある生活のために~

講師 パク・ジョアン・スックチャ さん

日時 3月8日(日) 13:30~15:00 会場 総合会館8階視聴覚室

入場無料 託児 無料 託児利用は、事前予約が必要です。 問合せ・託児申込先 はもりあ四日市



新規援助会員講習会開催!!

四日市市ファミリー・サポート・センターは、子育てを地域で支えあう会員組織です。子育てを助けてほしい人(依頼会員)に比べて助けたい人(援助会員)の数が不足しています。講習会を受ければ、どなたでも援助会員に登録できます。あなたの力を子育て支援に活かしてみませんか？

☎電話にて1月31日(土)までにお申込みください。☒労働福祉会館(中央緑地内)

☎無料(テキスト代2,050円必要です)

☒無料(事前にお申込みください)

日程	内容	講師
2/7(土) 10:00~15:00	相互援助活動の趣旨	体験ひろば こどもスペース四日市理事長 水谷 孝子さん
	こどものからだと病気について	三原クリニック院長 三原 武彦先生
2/8(日) 9:30~12:30	こどもの世話(遊び)	元保育士 芳野 仙さん
3/1(日) 9:30~11:00	子どもの身体と心の発達	中部学院大学短期大学部 幼児教育学科教授 林 陽子先生
13:30~15:30	救急法実習	日本赤十字三重県支部 富内 直美さん

☒四日市市ファミリー・サポート・センター(NPO 法人 体験ひろば こどもスペース四日市内)

☎323-0023

四日市市は『男女共同参画都市宣言』をしています！

【皆さんの意見を聞きながら作成しました】

平成14年7月から、公募による市民や学識経験者、各種団体メンバーによる「男女共同参画推進協議会」で検討し、原案を作成しました。その案に対し、市民の皆さんから意見を募集し、最終的に素案を作成、そして、市議会において可決され、平成15年12月19日に男女共同参画都市宣言をしました。

【四日市市で6つ目の都市宣言】

この宣言は、「交通安全」(昭和37年)、「暴力追放」(昭和58年)、「非核平和」(昭和60年)、「人権尊重」(平成4年)、「快適環境」(平成7年)に次いで6つ目です。

【一人ひとりが輝いて生きるまち 四日市】

性別に関係なく、個性と能力を發揮できる社会の実現を目指し、市民一人ひとりが日々の生活の中で、男女共同参画に対する意識を高めていただくために行った宣言。地域や行政における方針決定の場への共同参画、家庭内での家事・育児・介護などの分担など、課題はたくさんありますが、他人事と考えずに、私も関係あるんだという意識を持って、どうしたら男女共同参画社会を実現できるかを考えることが重要です。

平成18年4月に「男女共同参画推進条例」を制定し、本市の現状を踏まえたうえで、市として男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進していくために、現在、その指針となる新プランを策定中です。



映画会(2夜) 開催!!

この事業は、夜間も開館しているはもりあ四日市を皆さんに知っていただき、また、利用していただくために、親しみやすい切り口で開催している夜間事業です。

今年度は、昨年度に引き続き、NPO 法人 四日市男女共同参画研究所に委託し、開催しています。

今年度は、残すところあと2回のみ。残り2回は映画です。無料ですので、ぜひお越しください。

所本町プラザ2階会議室 **費**無料 **託児**あり。お子さん1人につき300円。

<第一夜 松井やより 全力疾走>

日時 1月24日(土) 18:30~20:00

女性初のアジア特派員だった松井やよりさんは、退職後も精力的に活動されていましたが、訪問先のアフガニスタンで体調を崩され、その後末期の肝臓ガンと宣告されました。それから、亡くなるまでの2ヵ月半、自伝の執筆と「女たちの戦争と平和資料館」の建設準備に没頭しました。まさに全力疾走でした。私たちに送られた最後のメッセージを多くの人に伝えたいと思います。

<第二夜 スタンドアップ>

日時 3月7日(土) 18:30~20:30

DV 夫から逃れ、故郷に帰ってきたシングルマザーが鉱山という“男ばかりの職場”で働くが、そこで受けたものすごいセクハラに集団訴訟を起こすという実話を基にした、一人でも立ち上がる(=スタンドアップ)パワーを与えてくれるお薦めのシャ・リーズ・セロンの映画です。その場にうずくまっていたら、何も変わらなかったであろう人生が、少しずつ動き始める…。逆境の中でも、幸せを掴むチャンスは誰にでもあるのです。

今月のおすすめ本

今月は、1月24日の夜間事業 映画会「松井やより 全力疾走」の松井さんが書かれている本をご紹介します。

映画は、18:30から、本町プラザ2階会議室で行います。

無料ですので、ぜひお越しください。

「女たちのアジア」 松井やより

女性初のアジア特派員だった松井さんが、先進国の経済的・軍事的支配、労働者階級としての自国の特権階級からの抑圧、家父長制の伝統の中での性差別という三重の抑圧に苦しんでいる、アジアの女性たちの声を届けてくれます。20年前に書かれた本ですが、抑圧・差別されている状況を認識し、変えようとしたアジアの女性たちを知るためには最適な、読みやすい一冊です。

「愛と怒り闘う勇気」 松井やより

がんの病床から、亡くなる4日前まで執筆したという一冊。さまざまな暴力と差別に怒れ! 勇気をもって闘え! と著者の渾身のメッセージ。



今月のキーワード

ジェンダー

ジェンダーとは、社会的性別を指します。誕生とともに、「女の子は女らしく・男の子は男らしく」と周囲に扱われ、育てられた結果、社会的につくりだした性別・性差のことをいいます。男女という生物的性別=セックス(sex)の分類に従って、成長に応じて遊びやおもちゃ、衣服、スポーツなど、文化によって男女に分ける育て方・育ち方の違いが、「女の子」「男の子」をつくっていきます。同様に、「男は仕事、女は家庭」といった性別役割分担意識も、このジェンダーによってつくられます。

1985年に日本が批准した「女子差別撤廃条約」第5条には、男女の固定的役割に基づく偏見、慣習、慣行をなくすため、男はこうあるべき、女はこうあるべきといった規範や行動様式を改めるようにと明文化されています。本市男女共同参画推進条例第3条

でも、固定的性別役割分担をなくし、男女がともに多様な生き方をできるようにしようと明文化されています。



登録グループイベント情報

- 1月16日(金) 「むかしむかしゾウがきた」 劇団四季 四日市公演
ゾウの九郎衛門がその命をかけて伝えてくれるメッセージが心に響きます。
時 18:30 開演 (18:00 開場)
費 SS席 5,250円 S席 4,200円 A席 3,150円 B席 2,100円(2階) C席 1,575円(2階)
所 文化会館 第1ホール 他 3歳以上のお子様はチケットが必要です。
問・申 四日市友の会 伊藤 (0594-22-5101)
- 1月25日(日) 「こまのおっちゃんの こまのサーカス」
日本の「投げごま」の、まわし方や技の紹介、国内外の珍しいこまや伝統芸の曲独楽を大道芸風に披露します。
時 10:00 開演 (9:30 開場) 所 内部小学校
費 前売り 1,500円 当日 2,000円
問 NPO法人 体験ひろば こどもスペース四日市 (321-0883)
- 1月25日(日) 講演会「学校や園におけるアレルギー対策～給食への対応や事故への備えについて～」
県内小学校で実際に起きたアナフィラキシー・ショックの事例紹介や、専門医から事故の未然防止策について提言をいただくとともに、エピペン(アナフィラキシー発現時の補助治療薬)の説明を行います。
時 13:00～16:30 所 総合会館 8階視聴覚室
問・参加申込 あるぎっこおひさまの会四日市(TEL&FAX 345-2390)
事前予約必要(専用申込用紙有)。申込多数の場合、抽選となります。

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介していきます。

今回は、NPO法人 四日市男女共同参画研究所さんです。

四日市男女共同参画研究所

代表者 坂倉加代子 会員数 35名
連絡先 326-8514

平成18年3月、はもりあ四日市を拠点にさまざまな分野で活動するグループの仲間たちと設立しました。男女共同参画の視点を持ったまちづくりと女性支援がテーマです。はもりあ四日市の夜間開館委託事業の受託は3年目になりました。また、メイン事業の一つ「せっぱつまった入用資金貸し付けバンク」は、配偶者などの暴力から逃れてきた女性への当座必要なお金を無利子でお貸しするものですが、利用も年々増え、支援の輪も少しずつ広がってきています。ひとつずつ、私たちのできることに取り組んでいます。

はもりあ四日市 こどものへやについて

紙芝居があるのをご存知ですか？ こどものへやには、いくつかの紙芝居があります。お部屋で楽しんでいただくこともできますし、図書同様、1ヶ月間まで貸し出しもしています。ぜひご利用ください。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F
TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml